

「たすきをつなぐ」

校長講話 R2.1.7

皆さんは「駅伝」を知っていますか。長い距離を何人かでリレーしながら走る競技です。その中で「箱根駅伝」がとくに有名で、毎年お正月の2日、3日に行われ、テレビ中継もします。先生も、今年テレビで観戦しました。与えられた区間をランナーが練習してきた成果を出し切って走り、次のランナーに、「自分は精一杯頑張った。後は頼むぞ」という思いとともに、それぞれの大学のカラーのたすきを渡しながらゴールを目指します。チーム全員の思いを乗せてランナーが頑張る。一人の力では絶対に勝てない。全員の力が一つになって初めて勝利できる。そして、それをサポートする人たち、応援する観客、全員の力が一つになって「駅伝」を作り上げている。駅伝の面白さはそういうところだと思います。

たすきを次のランナーに渡すことを「たすきをつなげる」といいます。今年度もあと3か月です。月には6年生は卒業して中学校へ。他の学年も一つずつ学年が上がります。この1月から3月は、まさに次の学年へ「たすきをつなぐ」期間だと思います。6年生は最上級生としてやるべきことを、しっかりと5年生に伝えて下さい。5年生はしっかりと受け取って下さい。秋竹小学校のよき伝統という「たすき」を上級生が渡し、下級生がしっかりと受け取りたすきをつないでいってくれることを願っています。

